



浜松市博物館情報



Monthly Report from Hamamatsu City History Museum

2020.2.15
No.335

博物館に春を告げる 市の鳥 ウグイス

博物館がある蛸塚公園では、春になるとウグイスが鳴きます。

ウグイスはホーホケキョという鳴き声で知られていますが、そのあとにまろやかな余韻を響かせ、キキョ キキョ キキョ キキキと続きます。昨年、博物館の事務室で電話をしていると、電話口の向こうから「ウグイスが鳴いていますね。」と言われました。うれしくなって、「博物館ではウグイスがとてみきれいに鳴くので、ぜひ来てください。」と答えました。



市の鳥「ウグイス」

それにしても、博物館ではウグイスの鳴き声がどうしてそんなにきれいなのでしょうか？

市の中心部からほど近い市街地にある蛸塚公園ですが、縄文時代からあまり種類が変わらないといわれる巨木や雑木に覆われ、公園内はとても静かです。その公園内でお碗のように窪んだ地形の一番底に博物館があるため、音がよく響きます。いろいろな小鳥のさえずりが重なりあい、その中でウグイスが一際目立ちます。ウグイスのさえずりには、オスからメスへの求愛と縄張りを知らせる機能があるそうです。蛸塚公園にはウグイスが好む藪や茂みが多いため、快適な縄張りを確保したウグイスが気ままに移動しながら気持ちよく歌っているようです。

日本で最も古い歌集『万葉集』には、ウグイスを詠んだ歌が五十首以上あります。「令和」は梅の花の歌にちなんでいます。万葉集には梅とウグイスがセットで詠まれた歌もあることから、日本人が古くから梅とともにウグイスに親しんでいたことがわかります。



春の蛸塚公園（奥の建物が博物館）

浜松市は、平成三年にツバメを市の鳥に選びました。馬込川河口で越冬するツバメは、大空をスイスイ飛び回り、燕尾服姿のイメージが音楽のまちに合うためです。平成十七年の合併により生まれ変わった浜松市は、市民アンケートを取りました。アオバト、ウグイス、カモ、ツバメ、メジロの中からウグイスが新しいシンボルに選ばれました。新たな浜松の幕開けとともに、コンダクターを照らしていたスポットライトが美声のソリストに向けられたかのようです。

ウグイスが鳴き始めるころ、公園内にある江戸時代の民家の前に梅が咲きます。博物館でウグイスのさえずりを聞きながら、春を感じませんか。

貨幣の移り変わり



上：和同開珎(708年発行) 東若林遺跡出土
左下：慶長小判(1601年発行) 重量18g 金86% 銀14%
右下：元禄小判(1695年発行) 重量18g 金56% 銀43%
※博物館では、貨幣約100点を常設展示しています。

貨幣は人々の暮らしに深く関わってきました。

律令国家を目指す日本が中国の制度を取り入れていた8世紀初め、中国の開元通宝をモデルにして和同開珎が作られました。それから250年の間に12種類の銭貨が作られましたが、10世紀後半から約600年は貨幣が発行されませんでした。その間、米や布が貨幣として用いられ、中国から流入した渡来銭が使われました。

徳川家康は全国を治めるための様々な制度を整え、江戸時代に貨幣制度が確立されていきました。元禄期には貨幣の質を落として数を増やすことで財政難を切り抜けようとしたのですが、物価が上がって人々の生活を苦しめる結果になりました。その後、幕末まで貨幣の改鑄が繰り返されました。

かつて人々が自給自足の生活や物々交換で欲しい物を得る生活をしていた時代、貨幣は必要ありませんでした。やがて、誰もが使えて貯めておけるものが交換の媒体として用いられ、しだいに金・銀・銅が広く使われるようになりました。

現在はキャッシュレスが推進され、ポイント還元制度が行われています。コンビニで小銭を使わずに買物をする人も増えているようです。長い歴史をもつ貨幣のありようが大きく変わりつつあります。

催し物のご案内

★テーマ展「めでたいかたち」

2月22日(土)～5月10日(日)

暮らしの中にある鶴・亀・松竹梅といった縁起の良いモチーフのものや、祝いの道具など、様々なめでたいと感じる形ものを展示します。

☆ギャラリートーク

2月27日(木) 3月19日(木)

午後2時～(約30分)

★小展示「道具たちの100年」

開催中～3月1日(日)

小学校社会科「古い道具と昔の暮らし」に合わせ、暮らしの道具の変遷を紹介します。

★古代のアクセサリーづくり

2月22日(土)・23日(日)

①午前10時～ ②午後1時30分～

対象：小中学生と保護者

(小学1～3年生は保護者同伴)

定員：各回10名

時間：1時間30分程度

費用：500円(ガラス玉と勾玉の材料費、保険代)

※保護者は別に観覧料(310円)が必要です

申込：2月15日(土)午前9時～電話で博物館へ



★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

3月14日(土)午後2時～

会場：蛸塚公園内旧高山家住宅

参加費：無料

※事前申込み不要。直接、会場へ。



★春休み体験館

3月24日(火)～4月5日(日)

会場：博物館講座室

★桜まつり

3月28日(土)、29日(日)、4月4日(土)、5日(日)

会場：蛸塚公園、博物館内

※詳しくは博物館HP、広報はままつなどでご確認ください。

浜松市博物館

開館時間：9時～17時

〒432-8018 静岡県浜松市中区蛸塚四丁目22番1号

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

2・3月の休館日：2/17～21、25、3/2、9、16、23

電話：053-456-2208

FAX：053-456-2275

HP：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/